

農林中央金庫の100%子会社で、投資を専門とする農林中金キャピタル（和田透社長、東京都千代田区）は5月15日付で、食品総合物流の山本水産輸送（岡山市中区）を中核とするヤマスイグループ8社の全株式を取得した。クレンジオ・パートナーズ（広島市中区）が仲介。先を見据えた事業承継を課題と捉えてきた同グループと、銀行法等改正（2021年5月）による規制緩和でバイアウト投資が可能になった農林中金キャピタルが株主として経営に参画、さらなる基盤強化と業容拡大を図る。個人事業で創業し、わずか26年間でグループ年商およそ100億円規模（今年9月期見込み）に急成長した企業が新たな一歩を踏み出すことになった。

●第1号投資に

農林中金キャピタル エクイティ（未公開）はプライベート・株）分野の投資拡充

ヤマスイが新体制へ 8社の全株式を譲渡



（左から）和田、時弘、山本貢一、横田、杉田泰視の各氏

を目的として2021年8月に設立される。政府にも、そこへ融資ではなく、株式のお力ネを回さなければいけないという考えがある（同）と環境の変化に触れながら、「当社が手掛ける記念すべきバイアウト投資の第1号となった」と力を込めた。運用する390億円のファンドの一部を使い、同グループの全株式を譲り受けることができたと経緯を話した。

役として一緒に経営を考へることに「なる」とし、食品関係の業界にも強い農林中金グループの取引先を紹介するなど、先を準備するつもりで

●後任は昇格で

一方、同会議室で会見で実運送5社など計8社の全株式を譲渡した経緯について、創業オーナーの山本新吾氏は「グループ会社が増えるなかで後継者問題が課題となっていた。ただ、当初からM&Aで同業他社に身売りすることは一切考えておらず、創業時

から頑張ってきた3人（役員）に任せたい思いがあった。それを理解してもらえた」と説明。幹部の3人が8社の社長にそれぞれ就任する一方、自らは非常勤の相談役（1年間）として経営から外れることも報告した。



ヤマスイグループ本部

営の最前線から退く原因の一つとなった」との事情も吐露。「事実無根の誹謗・中傷であつたうえ、同業者のなかでも近い関係の存在だっただけに、恨み節というのもある」と最後に胸の内を明かした。

- 掛町、滝宮運送（香川県綾川町）、東部興産（岡山県笠岡市）
- ▽横田耕三（元取締役事業部長）
- ▽時弘幸司（元取締役本部長）
- マスイ物流（岡山市中区）、三島機帆船運送商会（愛媛県四国中央市）
- 里庄タクシー（岡山県里庄町）
- ▽長尾和仁